

2025 年 9 月 22 日
岐阜プラスチック工業株式会社

RISU AMERICA, INC. インディアナ新工場 竣工式開催のお知らせ

2025 年 9 月 22 日 岐阜プラスチック工業株式会社（本社：岐阜県岐阜市）の米国子会社 RISU AMERICA, INC. は、このたびインディアナ州シェルビービルに建設していた新工場の完成を迎え、竣工式を挙行了しました。地元行政関係者、地域の皆さま、協力企業をはじめ多くのご来賓にご出席いただき、この新たな門出を祝いました。

新工場について

本工場は、RISU グループにとって 15 番目の生産拠点で、日本国外で初めての製造拠点となります。2024 年 4 月に着工し、このたび予定通り 2025 年 9 月に完成しました。

- ・所在地：インディアナ州シェルビービル
- ・敷地面積：約 117,359 m²（約 29 エーカー） 35,500 坪
- ・建屋面積：約 7,857 m²（約 1.94 エーカー） 2,378 坪
- ・生產品目：プラスチック製パレット（将来的に製品ライン拡大予定）
- ・投資額：6 年間で約 6,000 万ドル（約 95 億円）

※JETRO の『米国における製造拠点等の立地選定支援』サービスを活用して土地の選定に至りました。

岐阜プラスチック工業は 1990 年よりプラスチック製パレットの製造を開始し、30 年以上にわたり培ってきた経験と技術により、日本国内で高い信頼を築いてきました。本工場でもそのノウハウを活かし、まずはプラスチック製パレットの製造から操業を開始し、北米で拡大を続ける物流資材需要に応えてまいります。また、広大な敷地を活かし、今後の需要拡大に合わせて生産能力を拡張できる設計となっています。

雇用と地域貢献

稼働初期は約 21 名体制でスタートし、そのうち 13 名は日本から派遣された熟練技術者が務め、日本品質のもののづくりを根付かせます。中長期的には約 40 名規模へと拡大し、その半数は現地採用を予定しています。

RISU AMERICA は、地域人材の採用・育成に注力し、持続的な雇用機会を創出するとともに、地元サプライヤーとの連携を深め、地域経済の発展に寄与してまいります。

環境への取り組み

RISU グループは 30 年以上にわたりリサイクル材の活用技術を蓄積してきました。特にプラスチック製パレットはリサイクル材を有効活用できる製品であり、1990 年以來の製造実績とリサイクル技術を融合させ、環境負荷を低減した持続可能な製品を北米市場へ提供してまいります。

今後の展望

インディアナ工場は、『日本品質 × 環境配慮 × アメリカの力』を融合させ、持続可能で信頼できる製品を提供し、地域社会とともに成長することを目指します。操業開始時はプラスチック製パレットからスタートしますが、今後は物流資材に限らず、RISU グループが扱う多様な製品の製造も検討してまいります。これにより、北米市場におけるお客様の幅広いニーズに応えけるとともに、長期的な事業展開を通じて地域経済の発展に貢献していきます。

RISU AMERICA, INC. 会社概要

設立：2023 年 5 月

所在地：インディアナ州シェルビービル

代表者：CEO 松村 正俊

出資：岐阜プラスチック工業株式会社（100%）

事業内容：プラスチック製パレットをはじめとする物流資材の製造・販売

岐阜プラスチック工業株式会社について

1953 年創業。本社は岐阜県岐阜市にあり、物流資材、食品容器、住宅・土木資材、家庭用品、医療部材など幅広い製品を展開する総合プラスチックメーカーです。

グループ従業員は約 2,500 名、2024 年 3 月期の連結売上高は 1,137 億円。70 年以上の歴史と日本品質を基盤に、環境配慮型の製品開発に取り組み、2028 年度に売上高 1,500 億円を目指してグローバル展開を推進しています。

<RISU AMERICA, INC. インディアナ工場 外観画像>



<2025 年 9 月 22 日 竣工式 テープカット>

